

2019年8月2日

千葉県知事 森田健作様

6. 29「子どもの命と尊厳守れ 松戸に県立児童相談所の新設を」  
緊急シンポジウム 参加者有志 代表者 萩原まり子  
日本共産党千葉県議議員 みわ由美  
日本共産党松戸市議会議員団  
(うつの史行、平田きよみ、山口正子、ミール計恵)

松戸に県立児童相談所の新設を、柏児相の一時保護所増設を  
児童虐待防止へ体制の充実強化を求める緊急要望書

日頃より児童福祉行政の充実をめざし、ご努力されていることに敬意を申し上げます。

さて、私達は今年6月29日「子どもの命と尊厳守れ！松戸に児童相談所の新設を」と緊急シンポジウムを開催しました。多くの市民、超党派の議員など会場溢れる参加で、国の法改正等も学び、市内や県内の現場で何が起きているかなど、虐待防止へ、それぞれの立場の違いを超えて意見を交わしました。

県が、千葉県野田市で起きた10歳の女児虐待死事件を二度と繰り返してはならないと、この間さまざまな対策を講じています。しかし、県全体での一時保護の増加にみられるように事態は一層深刻化しており、現状に即した更なる抜本策や体制強化は待ったなしです。県内すべての子どもたちの命と尊厳が守られるよう、県全体での県立児童相談所の増設や一時保護所の拡充が求められていますが、とりわけ、松戸市を含む広範な都市部を管轄している柏児童相談所の施設改善、人員体制強化、担当エリアの見直しなどは急務です。

そこで、県立柏児童相談所に関する事項を中心に以下要望します。

記

1. 松戸市内に県立児童相談所を新設して下さい。県内でも千葉市に次いで最多の児童虐待相談がある松戸市内に児相は必要です。松戸市議会では二度にわたり意見書が採択されており、急務です。早急に実現して下さい。
2. 県立柏児童相談所の一時保護所の抜本的な増設を急いでください。定員の倍の児童が保護されていますが、今の計画では僅か4名増で不足は明らかです。公有建築物の活用や建てかえ計画を、早急にして下さい。
3. 児童相談所の職員の大幅増員と労働条件の改善、研修の更なる充実で、人的体制を強化してください。今後の職員確保のための特別の努力をして下さい。
4. 一時保護解除後の支援や体制整備は重要です。里親、養護施設や乳児院などの体制を抜本的に拡充できるよう、県としての支援を早急に強めて下さい。
5. 県のイニシアチブで虐待防止のため市町村とのネットワークを強化し充実させて下さい。DV対策との連携を改善強化してください。
6. 虐待防止について、子ども自身や子育て世代、学校、地域、関係機関への広報啓発活動を拡充して下さい。加害者への心のケアなど相談活動を充実させてください。
7. 国に対して、児童相談所の増設や、一時保護所などの基準の改善、職員確保策等々、県として支援をもっと強く要請して下さい。

以上